



きら煌めく人々たち

「神輿を『かつご会』が20周年」

田中 開 さん (牛深町・61歳)

県内最大の漁港である牛深地域。同地域では、豊漁を願う神輿巡幸が江戸時代中期から行われている。ところが、昭和40年代から若者の著しい減少により神輿の担ぎ手を失い、トラックの荷台に神輿を積んで、町中を巡幸しなければならなくなっていた。

そこで、平成元年1月、近隣の有志が集まって、神輿を担ぐボランティア集団『かつご会』を創設。現在、会長を務める田中さんは「町おこしのために始めたことだが、この伝統文化を衰退させないた

めでもある」と熱く語る。この神輿巡幸は、毎年10月の第2土・日曜日に実施。50〜60人が神輿を担いで牛深町全域を練り歩く。その道中に御花や御樽などの奉納品を預かり、預かった家の前で神輿を激しくゆらし、その家の繁栄を祈念する。また、道中には「神輿かつご唄」を歌いながら練り歩く。現在、この唄の歌詞は100種類以上が歌い継がれている。

「10年ぐらい前から、見物人が増えており、活気が戻りつつある」と喜びを語る。また、「担ぎ手が創設した当時と同じメンバーなので高齢化してしまっていたが、最近では若い人たちが参加してくれるのでありがたい。でも、もっと多くの若い人が参加してくれればいいのだが」と願う。

「こがん、みたんなかことは、なか(ご)んなにみつともないことはないの(意味)」と思いはじめた『かつご会』が今年創設20周年を迎える。田中さんは、9月27日に行われる記念イベントを盛大にするため、準備に追われている。

ハッピーバースデー

今月で1歳になります

<p>池田 萌菜 ちゃん 牛深町 父・将行さん 母・美寿々さん</p> <p>2人のお姉ちゃんに負けないくらい元気いっぱい育ててね♪</p>	<p>森 咲太 くん 本渡町本泉 父・常法さん 母・あきこさん</p> <p>咲太！いっぱい笑って大きくなあれ!!</p>	<p>濱 紅葉 ちゃん 川原町 父・修一さん 母・由美さん</p> <p>みなとにいちちゃんと仲良く、すくすくと大きくなあれ♡</p>
<p>橋本 大和 くん 八幡町 父・直樹さん 母・ゆかりさん</p> <p>いっぱい食べて、遊んで、みんなを和ませよーっと♪</p>	<p>宮本 明奈 ちゃん 有明町赤崎 父・和徳さん 母・真美子さん</p> <p>いつも笑顔がステキな明奈ちゃん♡明るく元気に育ててね!</p>	<p>宮本 凰佑 くん 御所浦町横浦 父・達郎さん 母・美香さん</p> <p>つまみ食いと踊りが大好き!!そらに、仲良くしてね。</p>
<p>浦川 愛翔 くん 有明町楠南 父・一也さん 母・美佳さん</p> <p>いたずら好きの僕だけど、みんなから愛されています♡</p>	<p>濱洲 廉征 くん 本渡町広瀬 父・健喜さん 母・美香さん</p> <p>お歌が大好き!!毎日元気いっぱいです!!すくすく育ててね!!</p>	<p>村田 真菜 ちゃん 亀場町亀川 父・勝貴さん 母・真理子さん</p> <p>わが家の天使♡いっしょに、ゆっくり成長して行こうね♡</p>

10月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=9月10日(木)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

現代に息づく 歴史の証

「上田家文書」(天草町)

上田家は萬治元年(1658年)以降、高浜村で代々庄屋を務めた旧家です。この上田家伝来の古文書群は総数6,000点を超えており、とりわけ江戸時代後期から明治時代に至るまでの御用日記や各種村政史料が充実しているため、同村の当時の状況を克明に知ることができます。この膨大な史料の大半を占めているのが行政記録ですが、中には隠れキリシタン関連記録、砥石や陶石、窯業関連史料など、たいへん貴重なものも含まれています。特に7代目庄屋・上田宜珍が著した『天草島鏡』と通称『上田宜珍日記』は、天草の歴史を知るうえ



▲古文書群の一部(上田資料館収蔵)

で欠かすことができません。そのほかにも、近世の窯の概要を記載した「近国焼物山大概書上帳」など、注目すべき史料が多く残されています。これらは質・量ともにたいへん優れており、昭和50年に近世史料としては初めて県の重要文化財に指定されました。

地域ぐるみ
人が動く
地域が動く
天草が動く

地域主体の地域整備に取り組み

嵐口地区振興会(竹部正徳会長)

嵐口地区振興会では、1年を通して、多くの事業を実施しています。その中でも今年度のメイン事業として、平成21年度水保・芦北地域振興財団地域振興事業の助成を受け、「嵐口地区のふれあい交流事業」を行っています。

これは、昨年度嵐口地区自治会上脇支部が、同財団の助成を受けて実施した「憩いの広場整備事業」を基に、交流人口の増加による地域活性化を目的として、修学旅行生や観光客向けの野外体験学習などの新たな機能を加えた「ふれあい交流広場」を整備するものです。事業内容としては、あずま屋の設置、化石などの陳列、体験農園や水路の整備などを計画し、現在はあずま屋の設置に向けた準備作業を

進めているところです。また、地元の檜の木などを使用した炭焼きにも取り組んでおり、できた炭は嵐口春日炭として同振興会の事業資金確保のため販売も行っていきます。

今後も、嵐口地区のさらなる発展を旨とし、住民一丸となつてがんばっていききたいと思っております。



▲今年度新たな整備を行う「憩いの広場」